

午後Ⅰ試験

問1

問1では、複数の外部供給者とのサービス開始前の調整、及びサービス開始後のインシデント発生への対応を題材に、供給者管理について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問1は、具体的な要求事項やサービスレベル項目に着目した解答が少なく、正答率が低かった。

設問4(1)は、正答率が高かった。インシデントモデルを整備しておくことで、インシデントを早期回復できることが正しく理解されているようであった。

設問4(2)は、サービスデスクが行う内容を求めたが、LBの再起動など解決方法に注目した解答が多く、正答率が低かった。LBの製品メーカーからの情報を基に、サービスデスクの機能として実施する内容を解答してほしかった。

設問4(3)は、フォーラムの開催意義を求めたが、単に情報共有やサービスレベルの達成状況を確認するだけにとどまった解答が多く、正答率が低かった。サービス品質の維持及び向上のため、サプライヤ各社が協調して活動を決定することについて解答してほしかった。

問2

問2では、情報セキュリティインシデント発生への対応と対策を題材に、情報セキュリティ管理について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問1(1)は、正答率は平均的であったが、災害対策時に予備系サーバに必要となる対策に着目した解答が散見された。情報セキュリティインシデントに着目し、災害対策時とは異なった対応に着目して解答してほしかった。

設問1(2)は、正答率が低かった。バックアップサーバに関する設問であったが、異なるサーバに着目した解答が多かった。設問で明示した条件を正しく理解した上で、解答してほしかった。

設問2(1)と(2)は、正答率が高かった。不審メール対応訓練の有用性及び情報セキュリティ対策における構成管理の重要性は、正しく理解されているようであった。

設問2(3)は、マルウェアが動作するサーバやPCからデータを隔離する必要があることの理解が不足している解答が多く、正答率がやや低かった。情報セキュリティ対策におけるバックアップの重要性を理解してほしい。

問3

問3では、データセンタにおける電力供給設備の冗長性などに関する課題を題材に、ファシリティマネジメントについて出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問1は、正答率がやや高かった。消費電力(kW)に必要な出力容量(kVA)の算出方法は、正しく理解されているようであった。

設問2は、新規システムの求める電力供給設備の冗長構成要件に対して、満たせていない箇所を特定する設問であった。正答率は平均的であったが、冗長性に問題がない箇所や、新規システムに関係のない箇所を特定するといった誤った解答が散見された。

設問3は、正答率は平均的であったが、設問を正しく理解していないと思われる解答が散見された。(1)では、予備のUPSを利用する解答が散見されたが、他UPSの冗長性を下げってしまうことから、誤りである。部分的な冗長性だけでなく、全体の冗長性の把握が重要であることを理解してほしい。(2)は判定基準の変更を求める設問であったが、対応内容の変更を記述する誤った解答が散見された。設問で明示した条件を正しく理解して、解答してほしかった。